

学童3人米へ武者修行

来春空手道世界大会に

来年4月にアメリカ・ラ
スベガスで開かれる「20
07 USA OPEN

空手道選手権大会」に、熊
本市の空手クラブ「健空会」
から福田聖志朗君（託麻西
小3年）、堅志朗君（同1
年）の兄弟と、徳永知華さ
ん（花園小5年）が出席す
る。3人は、11月に行われ
た健空会が所属する「和道
会」の今年度ジュニアナシ
ヨナル強化チームの選考会
で、全国の小中学生28人の
中に選ばれた。3人は形の
種目に登場する。「世界大
会で優勝したい」と口をそ
ろえ意気込みは十分だ。

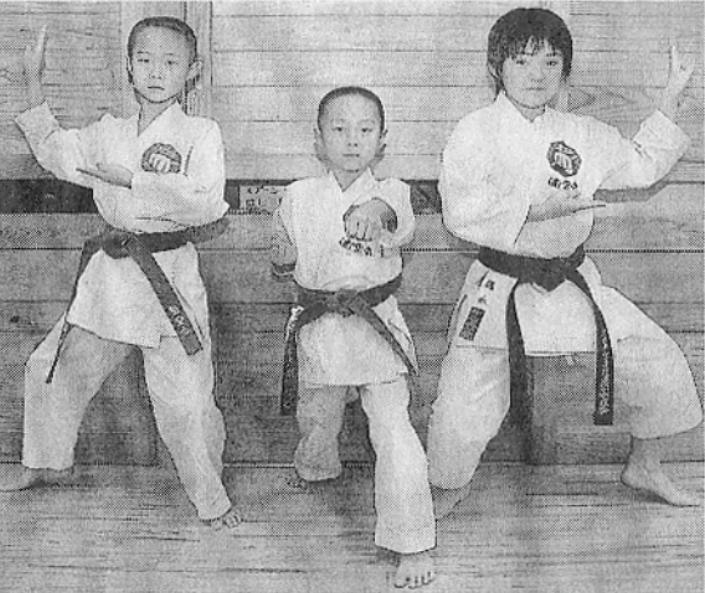
聖志朗君、堅志朗君兄弟
は、聖志朗君が小学校に入
学するごとに一緒に空手を
始めた。週に3回、クラブ
で練習するほか、家でも毎
日、大きな鏡を置いた練習
部屋で、母親のジュンさん
(36)に見てもらいながら、
1時間以上、形の練習をし
てきただ。ジュンさんは「負けず嫌いの弟に、兄
は負けられないという気持ちになつて、お互い高め合
っているのでは」と話す。

徳永さんの母親、由紀子
さん(35)は同クラブの指導
員でもあり、ラスベガスに
は引率者として同行する。
「大きな大会は初めての子
どもたちに、不安を与える
ことのないようにしたい。

世界を経験することで、次
へのステップになれば」と
温かく見守る。

同クラブ代表の山内淳さ
ん(36)は「会の信条は『明
るく楽しく元気よく』。生
涯スポーツとして空手を樂

しもうという姿勢でやつて
きた」と語る。聖志朗君は
「大会で勝つとうれしい。空
手はずっと続けたい」、堅志
朗君は「きついけど楽しい。
やめたいと思ったことはな
い」とそれぞれ空手に熱中
し、世界への初挑戦を心待
ちにしている。



世界大会に出場する（左から）福
田聖志朗君、堅志朗君、徳永さん